

表3. 奈良学園大学 人間教育学部 学生用 新型コロナウイルス感染症関係(疑い含む) 出席停止期間早見表

パターン	症状等	対応	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	公欠届(感染症罹患)に添付する書類等
①	学生の感染が判明(有症状病原体保有者)(最短期)	出席停止措置 ※保健所の指示に従う	発症(判明前に欠席していれば最終登校日)	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	体調回復	無症状	無症状	無症状						・治癒証明書(宿泊療養や自宅療養の場合は保健所が発行する就業制限解除通知書) ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(発症日から10日経過し、且つ回復後72時間経過するまで)											登学					
②	学生の感染が判明(有症状病原体保有者で2回陰性確認を受ける場合)(一例)	出席停止措置 ※保健所の指示に従う 注4) PCR検査の感度参照	発症(判明前に欠席していれば最終登校日)	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	体調回復	検体採取	陰性判明 検体採取	陰性判明							・治癒証明書(宿泊療養や自宅療養の場合は保健所が発行する就業制限解除通知書) ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(発症日から10日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後に24時間間隔でPCR検査2回陰性確認するまで)											登学					
③	学生の感染が判明(無症状病原体保有者)	出席停止措置 ※保健所の指示に従う 注4) PCR検査の感度参照	検体採取日	感染判明	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状					・保健所が発行する就業制限解除通知書 ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(PCR検査陽性と判定されて10日間経過するまで)											登学					
④	学生の感染が判明(無症状病原体保有者で2回陰性確認を受ける場合)	出席停止措置 ※保健所の指示に従う 注4) PCR検査の感度参照	検体採取日	感染判明	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	検体採取	陰性判明 検体採取	陰性判明							・保健所が発行する就業制限解除通知書 ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(PCR検査後6日間経過後に24時間間隔でPCR検査2回陰性確認するまで)											登学					
⑤	学生が濃厚接触者に特定された場合	出席停止措置 ※保健所の指示に従う ※感染が判明した場合は①~④へ ※陰性で症状がある場合は⑨へ 注4) PCR検査の感度参照	感染者と最後に接触	無症状	無症状	検体採取	陰性判明	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	無症状	・出席停止期間中の体調管理票(アプリ) (陰性報告と、保健所や医療機関から指示された自宅待機期間については行動メモ欄に記録)
			出席停止(学生が陰性と判明した場合、感染者と最後に接触した翌日から2週間自宅待機)											登学					
⑥	学生の同居家族が濃厚接触者と特定されたり、*発熱等のかぜの症状がみられることにより、PCR検査を受検する場合	出席停止措置 ※同居家族の感染が判明した場合は⑤へ 注4) PCR検査の感度参照	同居家族等の濃厚接触者認定等の日			同居家族 検体採取	同居家族 陰性判明												・出席停止期間中の体調管理票(アプリ) (同居家族の陰性報告は行動メモ欄に記録)
			出席停止(同居家族が陰性と判明する日まで)											登学					
⑦	感染がまん延している地域において、学生の同居家族に*発熱等のかぜの症状がみられる場合	出席停止措置 ※同居家族が受検する場合は⑥へ 注2) 学生が居住する地域の感染状況は下記URL参照	同居家族等の発熱等かぜ症状がある日																・出席停止期間中の体調管理票(アプリ) (同居家族の症状消失報告は行動メモ欄に記録)
			出席停止(同居家族等の発熱等かぜ症状が消失する日まで)											登学					
⑧	学生に*発熱等のかぜの症状がみられ、受診した場合(PCR検査を受検しない場合)	発症後少なくとも8日が経過し、且つ解熱剤等を服用していない状態で全ての症状が消失して3日が経過するまで出席停止措置(ただし、8日または3日については医師の診断により変更可能)	発熱等のかぜの症状出現	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	症状あり	体調回復	無症状	無症状								・医療機関の領収証、または診療明細書のコピー ・薬を処方された場合は調剤明細書のコピー ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(原則:発症後少なくとも8日が経過し、且つ回復後3日経過するまで)											登学					
⑨	学生に*発熱等のかぜの症状があり、PCR検査を受検する場合(一例)	発症後少なくとも8日が経過し、陰性であっても、解熱剤等を服用していない状態で全ての症状が消失して3日が経過するまで出席停止措置(ただし、8日または3日については、医師の診断により変更可能)注4) PCR検査の感度参照※感染が判明した場合は①または②へ	発熱等のかぜの症状出現	症状あり	検体採取	陰性判明	症状あり	症状あり	体調回復	無症状	無症状								・医療機関の領収証、または診療明細書のコピー ・薬を処方された場合は調剤明細書のコピー ・出席停止期間中の体調管理票(アプリ)
			出席停止(原則:回復後3日経過するまで)											登学					

注1) 「*発熱等のかぜの症状」とは、微熱(普段の体温より高い状態)・発熱(体温が37.5度前後より高い状態)以外に咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、匂い味がしない、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等、平常と異なる体調とする。「*発熱等のかぜの症状」がある場合は、かかりつけ医等身近な医療機関(近医)に電話で相談して受診すること。「近医」がわからない場合は「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」(地域により名称が異なる)に電話で相談すること。

注2) 感染がまん延している地域とは、下記URLで公開されている「都道府県単位に見る10万人当たりの感染者数」(厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料」よりNECが作成)が、5人以上の都道府県とする。学生自身でアクセスして情報把握することとする。https://covid-19.nec-solutioninnovators.com/

注3) 本早見表の「出席停止」とは、登学や実習についての出席停止のことである。オンライン授業の出席停止については、科目担当教員が当該学生の体調により判断することとする。

注4) PCR検査の感度は70%程度と言われている。そのため、PCR検査で陰性であっても、新型コロナウイルス感染症でないとは言いきれないことがある。そのため、濃厚接触者と特定され陰性と判明した場合でも、患者と接触した翌日から2週間の自宅待機が要請される。また、PCR検査は、発症から10日以降は検出性能が低い。そのため、PCR検査で陰性であっても、かぜの症状がある場合には、加療を優先させて体調回復するまで自宅待機をすることを基本とする。ただし、症状が長引いた場合で、医師が、「非感染性であり、出席可」と判断した場合は登学可となり、出席停止の対象から外れることとなる。

注5) その他、「学生の出席停止」についての最終的判断は学科長判断とする。出席停止になった場合は、登学時に公欠届の手続きをすること。

注6) 「本早見表」は、現時点での新型コロナウイルス感染症関係(疑い含む)の出席停止に関する原則をパターン別に示している。今後の知見の動向等により、必要時更新し、柔軟に対応するものとする。

注7) 教育実習、施設実習については、実習前に体調が芳しくない場合や、実習開始2週間前から開始までの間に教育実習生(家族等含む)が罹患した場合は実習への参加を中止すること。